

提 言 書

日 時 令和3年7月12日（月） 午後3時35分から午後5時10分まで
場 所 紀の川市役所 庁議室
出席者 仁藤 伸昌 箕輪 光芳 林 宏信 恩賀 要 野村 壮吾
森 伸一 堀 貴己

審議事項

- ・令和2年度行財政改革推進計画の進捗状況について
- ・令和3年度行財政改革推進計画の重点推進項目について

審議内容

令和2年度行財政改革推進計画の進捗状況について審議を行うとともに、令和3年度行財政改革推進計画について、住民サービスの著しい低下を招くことなく行財政改革を着実に進めることのできる内容になっているか審議を行いました。

デジタル化の遅れによって給付金支給の行政手続きが遅れるなど、コロナ禍において行政に求められる様々な問題が顕在化しており、地方自治体にとって厳しい状況下にあります。

そのような中、第3次行財政改革大綱に掲げられた項目について、順次、重点的な取り組みが行われていることが確認でき、着実な成果が得られていると判断できました。また、今年度以降の取り組みとして行財政改革大綱にもとづき、着実かつ具体的な取り組みが計画されていることも確認できました。

つきましては、下記のとおり委員会による提言を記しますので、今後の行財政改革への取り組みに反映されるようお願いします。

記

① 情報格差の解消について

自治体のデジタル化を推進していくにあたり、高齢者向けのスマホ教室の開催を実施するなど、だれも取り残されないデジタル化の推進に配慮をしていただきたい。

② 積極的な外部研修の参加について

職員が外部研修等を通じ、他市町村との情報共有や知識の習得をできるよう努めていただきたい。

③ 一体感のある公共施設の統廃合について

紀の川市民としての一体感が醸成されてきているなかで、市民ニーズの変化に対応した公共施設の統廃合を進めていただきたい。